〈教育学部〉

科　目　名	科目区分	開講年次	必･選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
教育方法論[小]	専門（教育の基礎）	2	小 必修	前期	2	冨 田 俊 幸	単独

英語科目名	Teaching Methods	

免許法施行規則に定める科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

＜授業概要＞

義務教育課程での教諭及び教頭において、教科教育並びに各種領域に関わる教育活動に従事していた実務経験を活かして実践的な教育内容を扱う。教育方法の基礎的理論を学んだ上で、授業デザイン及び学習指導と評価の一体化の重要性、並びに個に応じる指導のあり方について議論する。次に、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力をふまえて、主体的・対話的で深い学びを実現するための学習指導案を作成する。考案した学習指導案を基に、教材開発と指導計画に関して、情報機器を活用して発表する。教育方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）に関して理論と実践の両面から学ぶことにより、実践的指導力を身に付ける。

＜到達目標＞

これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。

＜ディプロマポリシー＞

・専門的な教育学の知識全般を修得し、クリティカルシンキング、創造的思考力、問題解決力を身につけている。
・「アクティブ・ラーニング」「ICT の活用」「実践的道徳教育」「特別に支援の必要な児童生徒への対応」などの指導力を身につけ、初等教育専攻のものにあっては「さまざまな教科の幅広い知識と指導力」、中等教育専攻のものにあっては「専門教科に関する高い知識と指導力」を修得している。

＜学生へのフィードバック＞

授業で全体に向けてフィードバックを行う。提出されたレポートにコメントをつけてフィードバックを行う。

＜授業／AL の進め方＞

グループディスカッションやクラスディスカッションを通した思考の広がりを重視する。

＜利用する ICT 機器＞

パワーポイント（講義・発表），インターネット（情報収集）：通信端末を持参のこと，電子黒板（情報共有）

＜成績評価＞

【評価方法】○教材開発と指導計画の発表　40%　○日常の課題への取り組み　20%
○課題レポート　40%
【評価基準】○教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術が身に付いている。

＜教科書＞

文部科学省『小学校学習指導要領』（最新版）
教育の方法と技術　　稲垣忠　北大路書房

＜参考書＞

授業中に適宜資料を配布する。

＜受講学生へ＞

これからの社会を担う子どもたちに求められる資質･能力とは何かについて、社会的状況との関係性の中で問い直しつつ、主体的･対話的で深い学びが実現されるような教育方法及び技術の在り方を、ディスカッションを通して考えていきましょう。

【授 業 計 画】

第１回	授業内容	【ガイダンス】　教育の方法及び技術を学ぶ意義、これからの授業の進め方、評価方法等を確認する。
	事前事後学修	事前に自分の受けた教育方法及び技術を振り返りまとめておく。事後に教科書に目を通して今後の学習内容を把握する。合計（４時間）
第２回	授業内容	【教育方法の基礎的理論と実践　①】　教育方法とは「教育の過程」全体（教育の目的・内容・評価、指導の方法・条件等）を意味することを学ぶ。教師の役割とは何か議論する。
	事前事後学修	事前に教育の目的と自分がこれまでに受けた評価方法を振り返りまとめておく。事後に教師の役割についてまとめる。合計（４時間）
第３回	授業内容	【教育方法の基礎的理論と実践　②】　教育技術の普遍性・歴史性・個別性及び教育方法・技術の創造的性格に関して、具体例を通して学ぶ。授業の準備に関わる基礎概念としての指導案及び授業デザインの重要性を認識する。
	事前事後学修	事前に教育技術の具体例を調べておく。事後に指導案を調べ、活用されている教育方法を確認する。合計（４時間）
第４回	授業内容	【子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育方法】　これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力とは何かを検討した上で、主体的・対話的で深い学びを実現するための教育方法を具体的に考える。
	事前事後学修	事前に資質・能力について調べておく。事後に主体的・対話的で深い学びを実現するための教育方法についてまとめる。合計（４時間）
第５回	授業内容	【授業を構成する基礎的要件】　授業を構成するための基礎的な要件とは何か検討する。（学級、児童生徒、教員、教室、教材など。）
	事前事後学修	事前にこれまでの経験をもとに授業を構成する基礎的な用件について考えておく。事後に授業に必要な要件についてまとめる。合計（４時間）
第６回	授業内容	【学習評価の基礎的な考え方】　学習評価の意義や目的をふまえた上で、どのような評価方法があるか考える。さらに、学習指導と学習評価の一体化を図る重要性、並びに個に応じる指導のあり方について議論する。
	事前事後学修	事前に学習評価の意義や目的について調べておく。事後に学習指導と学習評価の一体化の重要性並びに個に応じる指導について振り返る。合計（４時間）
第７回	授業内容	【情報機器と情報活用能力の育成】学校教育において、情報機器（PC，実物投影機，電子黒板等）が授業でどのように活用されているかを知り、子どもたちの情報活用能力を育成するためにはどのように指導したらよいかを検討する。
	事前事後学修	事前にこれまで受けた情報機器を活用した授業を振り返る。事後に指導案を調べ、活用されている教育方法を確認する。合計（４時間）
第８回	授業内容	【特色ある教育方法の事例検討　①】　国内外の教育実践を通して、その実践に基づく理論や、教育方法及び技術に関する特色をまとめ、発表する。
	事前事後学修	事前に数種類の教育論について調べておく。事後に教育方法及び技術に関する特色を振り返りまとめる。合計（４時間）
第９回	授業内容	【特色ある教育方法の事例検討　②】　国内外の教育実践を通して、主体的・対話的で深い学びがカリキュラム上にどのように実現されているか、その特色をまとめ、発表する。
	事前事後学修	事前に主体的・対話的で深い学びについてまとめておく。事後にカリキュラム上で主体的・対話的で深い学びが実現されているかを振り返りまとめる。合計（４時間）
第10回	授業内容	【教育の基礎的技術】　教育活動に必要な指導技術は何かについて考える。実演を通して話法、板書等、授業を行う上で必要な技術を修得する。合計（４時間）
	事前事後学修	事前に話法や板書等について調べておく。事後に自分の話法や板書を振り返り反省する。合計（４時間）
第11回	授業内容	【学習指導案の作成　①】　基礎的な学習指導理論をふまえて、目標、内容、教材、教具、授業、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案の作成方法について学ぶ。
	事前事後学修	事前に指導案の具体例を印刷して用意する。事後に自分で考えた指導案を作成する。合計（４時間）
第12回	授業内容	【学習指導案の作成　②】　教科、学年、単元等を設定し、学習指導案を立案する。

事前事後学修	事前に自分で作成している指導案の作成に関わる課題を見いだしておく。事後に自分で作成した指導案について、目的と学習課題、そして評価の整合性を確かめる。合計（４時間）

第 13 回

授業内容	【学習指導案の作成　③】　情報機器を活用して、子どもたちの興味・関心の向上、課題把握や学習内容のまとめにおいて、効果的な教材を作成する。合計（４時間）
事前事後学修	事前に情報機器の効果的な活用場面を考えておく。事後に作成した教材を振り返り改善を考える。合計（４時間）

第 14 回

授業内容	【教材開発と指導計画の発表　①】　作成した学習指導案を基に、活動の展開例を提案する。教科、学年、単元、目標、教材、展開、指導上の留意点、工夫した点等を、情報機器を活用して発表する。
事前事後学修	事前に作成した学習指導案の展開について再確認する。事後に自分が作成した指導案の改善を考える。合計（４時間）

第 15 回

授業内容	【教材開発と指導計画の発表　②】　考案した学習指導案を基に、活動の展開例を提案する。主体的・対話的で深い学びを実現するためにどのような点を工夫したか、情報機器を活用して発表する。
事前事後学修	事前に作成した学習指導案で主体的・対話的で深い学びとなる部分を考えておく。事後に作成した学習指導案における主体的・対話的で深い学びとなる教育方法及び技術についてまとめる。合計（４時間）